

平成28年度(2016年度)

管理事業名	やすらぎ苑(火葬場)事業			総合計画の体系	第5章 環境を守り育てるまちづくり 第1節 環境負荷の少ない住みよいまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 9 やすらぎ苑費
部局名	環境部	予算執行所属	地域環境課		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
施設管理事業 火葬事業					
事業の目的と概要	<p>目的:埋火葬又は改葬の許可を受けた御遺体の適切な火葬執行、死亡した犬・猫等及び医療に伴う廃棄物を適切に処分することで、環境衛生の充実を図ります。また、火葬場であるやすらぎ苑の適正な維持管理に努め、火葬業務の円滑な執行を図ります。</p> <p>概要:棺の受入、火葬及び収骨等の火葬に係る業務を行う事業及び環境部事業課から搬入される死獣及び医療に伴う排出物を焼却炉にて焼却する事業です。また、火葬場であるやすらぎ苑の火葬業務を円滑に行えるよう、施設管理を行っています。</p>				

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
火葬件数	件	2,958	2,845	3,130	火葬件数
成果の説明	火葬件数は、市内・市外利用者ともに増加傾向になっています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	31,379	27,775	37,644	9,869
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	407	988	868	△120
経常収入 小計(a)	31,786	28,762	38,512	9,749
給与関係費	22,708	23,177	22,417	△760
物件費	71,542	70,853	65,537	△5,315
維持補修費	28,389	28,884	22,802	△6,082
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	100	113	109	△4
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	32,462	31,349	31,349	-
徴収不能引当金繰入額	3	-	-	-
賞与引当金繰入額	888	911	803	△108
退職手当引当金繰入額	4,528	702	△780	△1,482
支払利息	9,714	7,801	5,823	△1,978
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	170,333	163,791	148,061	△15,730
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△138,547	△135,028	△109,549	25,479
特別収入	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△138,547	△135,028	△109,549	25,479
一般財源充当額	195,257	197,396	173,540	△23,856
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	56,710	62,368	63,991	1,623

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	やすらぎ苑(火葬場)使用料37,644千円(+9,869千円)【増額理由】火葬件数の増加による
物件費	光熱水費 22,635千円(-2,401千円)【減額理由】ガス料金単価の減額による
維持補修費	やすらぎ苑に係る建物等修繕料 22,802千円(-6,082千円)【減額理由】平成28年度に実施した修繕項目に係る経費の差額による

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	31,786	28,762	38,409	9,646
行政サービス活動支出	134,074	132,928	118,454	△14,474
行政サービス活動収支差額	△102,289	△104,165	△80,045	24,121
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	92,969	93,230	93,495	265
財務活動収支差額	△92,969	△93,230	△93,495	△265
収支差額 合計	△195,257	△197,396	△173,540	23,856
一般財源充当額	195,257	197,396	173,540	△23,856
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	行政サービスの活動収入:やすらぎ苑(火葬場)使用料 行政サービスの活動支出:火葬業務等委託料 財務活動支出:公共施設償還
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
火葬1件当たりのコスト	平成26年度	2,958 件	57,584 円	火葬1件あたり47,304円のコストがかかっています。物件費及び維持補修費減により1件あたりのコストが減少しました。
	平成27年度	2,845 件	57,572 円	
	平成28年度	3,130 件	47,304 円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	94,407	90,394	△4,013
未収金	3	30	27	地方債	93,495	89,590	△3,905
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	911	803	△108
徴収不能引当金	△3	△3	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
事業用資産				その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	3,658,925	3,627,575	△31,349	固定負債	271,967	180,742	△91,225
土地	2,522,082	2,522,082	-	地方債	261,247	171,656	△89,590
建物・工作物	1,136,843	1,105,494	△31,349	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	10,720	9,086	△1,634
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	76	76	その他固定負債	-	-	-
インフラ資産				負債の部合計	366,373	271,136	△95,237
土地	-	-	-	純資産	3,292,551	3,356,542	63,991
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-	純資産の部合計	3,292,551	3,356,542	63,991
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	3,658,925	3,627,678	△31,247
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	3,658,925	3,627,678	△31,247				

Ⅲ 財務構造分析

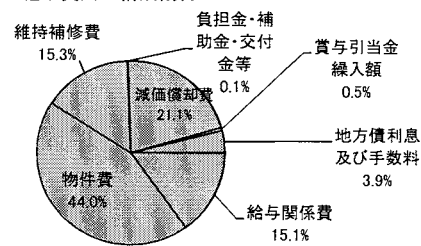
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均 1.3人	月平均 4人	年間従事延日数 日	実人数 人	
給与関係費等	10,778千円	11,662千円			22,440
内、時間外勤務手当	1,476千円				

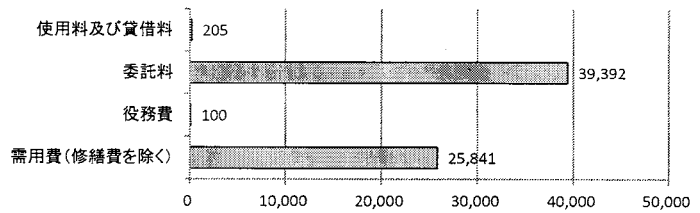
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
未収金	市内料金で納付後、市外料金と判明したことによる差額の未収金27千円の増
建物・工作物	やすらぎ苑減価償却による31,349千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立やすらぎ苑
取得年月日	平成20年(2008年)12月1日
建物・工作物の取得価額	1,395,567千円
建物・工作物の減価償却累計額	290,074千円
利用料金収入	37,586千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	差 B-A
			A	B	
施設維持補修費比率		2.0	2.1	1.6	△0.5
施設老朽化比率		16.3	18.5	20.8	2.3
受益者負担比率		18.4	17.0	25.4	8.4
徴収不能引当率		100.0	100.0	10.0	△90.0
一般財源充当比率		86.0	87.3	81.9	△5.4
経常費用対公共資産比率		12.2	11.7	10.6	△1.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費65,537千円(44.0%)、減価償却費31,349千円(21.1%)、維持補修費22,802千円(15.3%)、給与関係費22,417千円(15.1%)となっています。物件費の主な内訳としては、火葬業務等委託料29,938千円、光熱水費22,635千円、施設維持管理委託料9,195千円です。なお、火葬業務等委託料につきましては、平成27年度に比べて1,253千円減額していますが、これは契約方法を変更したことによるものです。また、使用料につきましては、吹田市使用料・手数料及び自己負担金改定に関する基本方針で、やすらぎ苑は大部分を公費負担とする施設として、受益者負担比率が低くなっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

火葬場の施設管理運営については一定の経費がかかりますが、その大半は公費から支出されています。そこで、一体的で効率的な施設管理運営を目的として平成30年4月から指定管理者制度を導入します。また、指定管理者制度を導入することにより、民間の柔軟な発想を活用し市民サービスの向上を図ります。